

— 陶に^{あそ}遊んだ。陶を究めた。 —

人間国宝 石黒宗麿のすべて

プレス・リリース

平成 28 年 4 月 16 日 (土) ~ 6 月 19 日 (日)



茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)
Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012 <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

人間国宝 石黒宗麿のすべて

陶あそに遊んだ。陶を究めた。(キャッチコピー)

2 開催趣旨

A：一言でいうと (101 文字)

多彩な技法を用いて、品格ある数々の作品を生み出した人間国宝 石黒宗麿いしぐろむねまろ(1893-1968)の約20年ぶりの回顧展です。陶芸作品124点と書画14点に加え、宗麿が研究した中国唐・宋時代の古陶磁も展示し、宗麿芸術の全貌を紹介します。

B：もう少し丁寧にいうと (264 文字)

最新の知見に基づく「鉄釉陶器」の人間国宝 石黒宗麿(1893-1968)の、約20年ぶりの回顧展です。宗麿は特定の師を持ちませんでしたが、中国の唐・宋時代の古陶磁を研究するなかで幅広い陶芸技法を体得し、独創的な陶芸の世界を築き上げていきます。戦後はチョーク釉の新技法や、藍彩など低下度色釉を駆使した、従来どこにもなかった作品を創出。自由な気分と近代感覚に溢れた、斬新で品格ある作品を生み出し続けました。本展では、陶芸作品124点と書画14点に加え、宗麿が研究した中国唐・宋時代の古陶磁も併せて展示し、宗麿芸術の全貌を紹介します。

C：詳細にいうと (591 文字)

最新の知見に基づく「鉄釉陶器」の人間国宝 石黒宗麿(1893-1968)の回顧展を開催いたします。

富山県に生まれた宗麿は、25歳のときに「稲葉天目」と称される中国宋代(12～13世紀)の窯変天目茶碗(現在、静嘉堂文庫美術館蔵・国宝)に感銘を受け、作陶を志したと語っています。宗麿は特定の師を持ちませんでしたが、昭和3年(1928)に京都へ移り住んで以降、中国の唐・宋時代の古陶磁を研究し、幅広い陶芸技法を体得していきました。

昭和11年(1936)、京都市北部の八瀬やせに窯を移して以後はここを生涯の作陶の場とし、独創的な陶芸の世界を築き上げていきます。戦後はチョーク釉の新技法や、藍彩など低下度色釉を駆使した、従来どこにもなかった作品を創出。自由な気分と近代感覚に溢れた、斬新で品格ある作品を生み出し続けました。

昭和30年(1955)に重要無形文化財保持者(人間国宝)の制度が誕生すると、富本憲吉、濱田庄司、荒川豊藏と共に、陶芸界から最初の認定を受けています。

宗麿の本格的な回顧展として約20年ぶりとなる本展では、宗麿の陶芸作品124点と書画14点により、宗麿芸術の全貌を紹介します。また、宗麿が研究した中国唐・宋時代の古陶磁も併せて展示します。古陶磁を範としながらも、作家としての自分の表現を追求し続け、多彩な作品を生み出した石黒宗麿の芸術の魅力を感じていただければ幸いです。

3 展示構成

出品総数 宗麿作品 138 点 古陶磁 13 点

(技法別に16のブロックに分けて作品を紹介します。)

- 1 - 三彩釉 2 - 鈎窯 3 - 磁州窯 4 - 刷毛目 5 - 柿釉 6 - 金彩 7 - 黒釉
- 8 - 唐津 9 - 宋赤絵 10 - チョーク釉 11 - 彩瓷 12 - 楽
- 13 - その他 辰砂・織部・志野 14 - 線刻 15 - 型の使用 16 - 書画

※書画は会期中展示替を行います。

前期：4月16日(土)～5月18日(水)／後期：5月19日(木)～6月19日(日)

4 主な作品（作品キャプション）

- ①《彩瓷柿文壺》1959-61年 東京国立近代美術館蔵
- ②《白地鉄絵魚文扁壺》1941年頃 東京国立近代美術館蔵
- ③《辰砂鉄絵魚花文平鉢》1937-40年 個人蔵 撮影：竹本春二
- ④《白地チョーク描薔薇文鉢》1949-50年 個人蔵 撮影：小杉善和
- ⑤《鉄絵荒蕪文平鉢》1967年頃 愛知県陶磁美術館蔵
- ⑥《黒釉線刻野牛文鉢》1949-50年 愛知県陶磁美術館蔵
- ⑦《失透釉鉄流文壺》1949-50年 富山県水墨美術館蔵
- ⑧《赤絵水指》1966-67年 愛知県陶磁美術館蔵

5 会期・会場等

会 期：平成28年4月16日(土)～6月19日(日)（65日間）
会 場：茨城県陶芸美術館 地下1階企画展示室
開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休 館 日：月曜日（ただし、5月2日（月）は開館）

6 主催・後援・協賛等

主催：茨城県陶芸美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷／損保ジャパン日本興亜／日本テレビ放送網
協力：日本通運

7 観覧料

一般 720(570)円 高大生 510(410)円 小中生 260(210)円
*()内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方〔ただし1人につき1人まで〕は無料。土曜日は高校生以下無料。

8 関連催事 *詳細は後日、チラシやホームページ等にてお知らせします。

- 講演会「模倣と創造 石黒宗麿の仕事について」
平成28年4月23日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師：小野公久氏（陶芸ジャーナリスト）
定 員：120名（先着順）
- 講演会「石黒宗麿の造形美」
平成28年5月14日（土）13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師：金子賢治（当館館長）
定 員：120名（先着順）
- ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。
平成28年5月7日（土）・6月11日（土） 各13:30～

9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地（笠間芸術の森公園内）
TEL.0296-70-0011／FAX.0296-70-0012
展覧会担当 学芸課長 山口 和子
学 芸 課 名村 実和子
広報担当 企画管理課 中島 淳 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

※プレスリリース用写真データ

広報担当の E-Mail アドレス kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp までご連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。写真を掲載する際には“4 主な作品”に記載されている、それぞれの作品キャプションを併記してください。

